

五中だより

鳳

学校教育目/標人間性豊かで、主体的に問題を解決する生徒
基本目標/①心の豊かな生徒 ②自ら考え、実践する生徒
③健康で、たくましい生徒
生活の3重点/「あいさつ」「無言清掃」「時間を守る」



第6号

令和7年8月27日

文責：教頭 今井 拓也

上田市立第五中学校 TEL 22-3076

学校HP <http://www.school.umic.jp/ueda5/>

〒386-0003 上田市上野4-4-1

PC・スマホ用

2学期がスタートしました!

27日間の夏休みが終わり、2学期がスタートしました。まだまだ残暑厳しい毎日が続いています。上田市でも40℃を超え、最高気温を更新しました。上田は県内でも有数の暑さを誇る土地となっています。全国的に、気温は8月から10月にかけて平年より高く全国的に「猛烈な暑さ」が続き、「残暑が長引く」見込みですが…「立秋」が過ぎ、暦の上ではもう「秋」です。秋と言えば「読書の秋」「芸術の秋」「食欲の秋」等、いろいろな言葉で表現されます。2学期は「実りの秋」です。鳳祭(小運動会、音楽会)などの学校行事は、運動に親しむ様子や作品、演奏、合唱、学年発表などを通し、日頃の学習や部活動の成果と子どもの成長を確かめられるときです。この秋に自分の夢や目標につながる何かをじっくりと実らせていきましょう。

2学期始業式での校長先生のお話

本当に暑い夏休みでした。皆さん元気で充実した休みになりましたか。今日から2学期。夏・秋・冬と3つの季節を駆け抜ける長い学期です。

2学期は、鳳祭に部活動新人戦、生徒会引継ぎ、日々の学習の充実や深まり、そして3年生は進路選択、ざっとあげても盛りだくさんです。

私から皆さんにお願いしたいことは、こうしたひとつひとつのことに本気で取り組んでほしいということです。キーワードは「本気」です。皆さん、本気って一体何だと思いませんか。

「やるぞ」と気合いを入れて取り組むことでしょうか。

辞書などで調べてみると「本気」は「冗談ではない真面目な気持ち」とか「真剣な気持ちを持っているさま」となっています。つまり「本気」とは「冗談・遊びではなくて一生懸命に取り組んでいる気持ちや様子」を意味しています。

「本気」になるためには大切なことは、自分で決めるということです。人に言われてやることではなく、自分で決断して物事を行うのです。例えば、10分間の清掃に誰よりも集中して取り組むとか、ゲームやスマホを少し我慢して、毎日3時間勉強する、とかです。本気というのは、自分で選択して決めるというのが一番重要です。

本気で取り組むと、おそらくどこかで壁にぶつかります。

逆に、壁にぶつからない人はまだ本気ではないのかもしれませんが。そんな壁にぶつかった時に自分自身が試されます。例えば、これから忙しくなる鳳祭の準備。もしかしたら、本気になって取り組んでいる中でうまく進まず、仲間と気持ちの行き違いが生まれるかもしれません。または、目標に向けて毎日勉強を積み重ねていっても、なかなか結果に表れず、焦ったり苦しかったりするかもしれません。どうか自分の本気を信じて、あきらめず取り組んでください。いつも言っていますが、そんな時は必ず誰かが助けてくれます。自分の本気を信じて、まわりの人と力を合わせて、その壁を乗り越えてください。

学校生活の様々な場面で皆さんの本気が見られることを期待して、挨拶とします。



本気

ホームページ掲載用に加工しています

「本気」後藤 静香 さんの詩 「本気」相田みつを さんの詩

2学期始業式 代表生徒の発表より

『2学期頑張りたいこと』

1年 NAさん

今日から1年間で1番長い2学期が始まります。思い返すと、中学生になって過ごした1学期は、初めて50分の授業を受けたり、定期テストがあったりと、小学校と違うことばかりで慣れるのに必死でした。ですが、初めてやる部活、初めての授業、クラスでの活動、自然体験学習など、色々なことが、飽きることのない楽しい毎日でした。

ようやく中学校生活に慣れてきた今、私が2学期に力を入れたいことは3つあります。1つ目は部活動です。私は吹奏楽部に所属しています。鳳祭ではサントミュージーズで吹奏楽部の演奏があります。このステージが3年生と演奏する最後の機会になるので、最高のパフォーマンスができるように頑張りたいです。

2つ目は学習です。私は英語と漢字が苦手です。英語で話す時につまってしまうたり、定期テストでは漢字の間違いが多く、点数を落としてしまいました。なので、1学期よりもたくさん英単語練習や漢字練習をするなど、学習方法を工夫して得意な教科にしていきたいです。

3つ目は鳳祭です。1年生はクラス替えがあるため、今のクラスで参加する最初で最後の鳳祭になります。小運動会での大縄跳びや全員リレー、合唱コンクールのクラス合唱、新聞コンクールなど、このメンバーでできるのは今年だけです。後悔しないように、全力で準備や練習をし、クラス全員で最高の結果を残したいです。そして、みんなで「やって良かった」と言えるようにしたいです。

1学期と同じように、あっという間に2学期が終わってしまうと思います。私はこの3つを意識して、2学期を充実したものにしていきたいです。

『2学期の決意』

2年 USさん

私が2学期に頑張りたいことは3つあります。

1つ目は勉強です。私は勉強がすごく苦手です。それでも、テスト勉強期間中はいつも自分なりに頑張って勉強しています。しかし時々、集中力が切れてしまう時があります。それもテストの点数が上がらない1つの理由でもあるのかなと思います。私が特に苦手な教科は、社会と理科です。社会はおもに歴史上の人物や、単語などが出てきます。内容を覚えるのも苦手なので、授業で聞いたことをたまに忘れてしまいます。理科では、社会と同じで単語や記述問題が出てきます。そのため、社会でも理科でも、人物名や単語を覚えることを中心に努力し続けたいです。また、私は理科の実験が苦手であり上手く覚えら

れません。そのため、2学期はできるだけ怖がらずに、実験に取り組みたいです。テスト勉強中は十分に休憩を取りつつ、集中して勉強に取り組みたいです。

2つ目は部活です。私は女子ソフトテニス部に所属しています。私は今年、副部長になることができました。部長になれなくて少し悔しい気持ちはありますが、副部長という大事な役目をもらえて、とても嬉しく思っています。最近はとても暑くなってきていて、熱中症にもなりかねないので、十分に水分を取って活動していきたいです。そして、2学期も練習や練習試合がたくさんあると思います。どれもすごく大切なことなので、ひとつひとつに一生懸命に取り組んで、大会で良い成績を取っていきたいです。

3つ目はたくさん本を読むことです。私は本を読むのが好きで、よく学校や家で本を読んでいます。今のところ今年借りた本の冊数は100冊です。私は図書委員でもあります。図書委員としての自覚を持つためにも、たくさん本を読みたいです。また、私は1学期に職場体験に行ってきました。場所は真田図書館です。図書館に行ってみて、あらためて思うことがありました。それは、本はたくさん種類、数があるということです。これからもたくさん本を手にとって、読んでいきたいです。3学期までに今年借りた本の冊数を150冊くらいにしたいです。

私は以上の3つのことを2学期に頑張っていきたいです。全て一気に改善していくのではなく、少しずつ丁寧に改善して、苦手なところでも精一杯に、自分の力で頑張っていきたいです。

『2学期に頑張りたいこと』

3年 TTさん

夏休みが明け、今日から3年生最後の2学期がスタートします。3年生の2学期は、4回にわたる総合テストに、中学校生活最後の鳳祭があります。そして、僕が2学期に頑張りたいことは3つあります。

1つ目は進路に向けて努力することです。2学期は、本格的に進路について決めていく時期になります。そのひとつとして、今まで学んできた全てが範囲になる総合テストがあります。前回の1学期期末テストでは、満足のいく点数が取れなかったなので、その反省を生かしてテストに臨みたいです。特に苦手な数学を重点的に勉強し、家で毎日苦手を克服できるように夏休みを過ごしてきました。いよいよ明日、僕にとって初めての総合テストがあります。進路実現に向けて悔いのないように挑みたいと思います。

2つ目は日常生活を丁寧に過ごすことです。学校生活でやるべきことをしっかりやり、勉強だけではなく、提出物や授業への取り組みを丁寧にしていきたいです。また、委員会活動を積極的におこない、よりよい学校づくりをする一員になりたいです。そのことを意識して2学期の学校生活に臨みます。

3つ目は鳳祭です。僕たち3年生にとって今年が最後の鳳祭になってしまいます。忘れることのない、かけがえのない思い出になるようにしたいです。合唱ではベストオブ鳳賞を取れるように、クラス一丸となって目標に向かってしっかりと練習していきたいです。また、小運動会についても、3年2組31人でできる最後の小運動会です。自分から積極的に練習していき、クラスみんなで頑張っていきたいです。

3年生の2学期は全てに「最後の」という言葉がついてしまいます。「最後の鳳祭」「最後の小運動会」「最後の合唱」と、全てが中学校生活最後のものになります。3年2組31人とともに挑むのも最後です。後悔のないように全力で過ごしたいです。

安全・安心な学校づくりのために

7/24 防犯研修会を行いました

長野県警察本部 生活安全部 生活安全企画課スクールサポーターの井出幹夫さん、上田警察署神科交番専門官の関力夫さんを講師に迎え、職員向けに防犯研修会を行いました。学校に不審者が来訪した時の具体的な対応について、教えていただきました。

○不審者と判断する基準

(判断基準) 知らない人は不審者と考えることが基本
相手と距離をとって挨拶する等して相手の来校目的等を判断して対応する。 **来校理由がわかるまでは全員が不審者**

○不審者を発見した場合の対応について

「不審者対応マニュアル」に従って的確に対応する。

非常時に対応できる組織を！

自分だったら・・・と考える。

○不審者新入の連絡を受けた責任者＝指揮者

(校長・不在時は教頭等)の対応

★不審者対応の基本

- ①現行犯人は、誰でも、逮捕状が無くても逮捕できる。
- ②逮捕した被疑者を司法警察員に引き渡さなければならない。
- ③引き渡さず釈放した場合は逆に訴えられる可能性があるなどを具体的に教えていただきました。

また、実際にさすまたの使い方なども教えていただきました。



8/19 教職員対象の普通救命講習を開催しました

生徒の安全を守るため、教職員は3年に1度普通救命講習を受講しています。今年度は東北消防署の方2名を講師にお迎えして、12名の教職員が約2時間にわたる講習を受講しました。(※応急手当WEB講習を受講することで、対面講習3時間が2時間に短縮)

講習では、訓練用の人形とAEDを用い胸骨圧迫、人工呼吸などの心肺蘇生法を実践的に学びました。また、止血方、異物除去などについて講義を聞きました。

受講生には3年間有効の「普通救命講習修了証」が与えられます。

突然の事故や病気などで救急車を呼ぶような場面に遭遇した時、落ち着いて対応ができるように、今後も正しい知識と方法を毎年継続して確認していきます。

本校ではAEDを以下の2か所に設置しています。

1階職員室

上野が丘社会体育館玄関

